

田舎モダン



開成町
kaisei town

開成町の概要

令和7年7月

開成町

目次

I 開成町について	
1 位置と地勢	5
2 沿革	5
3 町名の由来	5
4 開成町民憲章	5
5 町章・町の木・町の花	5
6 開成町のあゆみ	6
7 歴代町長	7
II 人口	
1 人口・世帯数の推移	8
2 人口増加率	8
3 年齢3区分別人口割合	8
III 土地利用	
1 計画的な土地利用	9
2 宅地の増加	9
3 市街化区域・市街化調整区域	9
IV 産業・観光	
1 産業	10
2 農業	10
3 観光	10
V 組織	11
VII 統計	
1 土地	
1-1 土地利用面積	12
1-2 都市計画区域・用途地域面積	12
1-3 地目別評価総地積	12
1-4 農業振興地域	13
1-5 地価公示(全国、県、県西圏域比較)	13
1-6 地価公示(経年比較)	13
2 人口	
2-1 世帯数・人口・1世帯当たり人員の推移	14
2-2 年齢(3区分)別人口	14

2-3	人口増加率・世帯増加率	15
2-4	人口動態①近隣自治体等との比較	16
	人口動態②経年比較(開成町)	16
	人口動態③年齢(各歳・5歳階級)別人口動態	17
2-5	昼間流入・流出人口①昼間流入・流出人口(開成町)	18
	昼間流入・流出人口②県西圏域各市町相互の従業・通学先状況	18
	昼間流入・流出人口③昼夜間人口比率	19
2-6	地区別人口・世帯数	20
2-7	外国人住民	21
2-8	合計特殊出生率等	21
	参考:市町村別人口の推移(昭和45年～令和2年)	22
	参考:年齢(3区分)別人口と割合(市町村)	24
	参考:年齢(3区分)別人口の推移(県西圏域2市8町)	25
3	産業	
3-1	産業別町民就業者数・割合	26
3-2	産業別町内事業所数・従業者数	27
3-3	産業別町内民営事業所数(経年比較)	28
3-4	年間販売額等	28
3-5	町内工場数・従業者数(従業者4人以上の事業所)	29
4	農業	
4-1	農家数	30
4-2	類別作付農家数(販売農家)	30
5	建築	
5-1	家屋数	30
6	社会福祉	
6-1	要支援・要介護者数	31
6-2	生活保護	31
6-3	身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳交付状況	32
6-4	国民健康保険給付状況	32
6-5	国民健康保険・後期高齢者医療制度加入状況	33
6-6	保育所状況	33
6-7	後期高齢者医療被保険者数・医療費	34
7	上下水道	
7-1	上水道給水人口・給水量	35
7-2	下水道処理区域人口・面積	35

8 運輸・鉄道	
8-1 開成駅乗車人数	35
9 環境衛生・消防・救急	
9-1 ごみ処理状況	36
9-2 し尿処理状況	36
9-3 火災発生状況	36
9-4 救急出動件数	36
10 教育	
10-1 学校等の概況	37
10-2 学年別園児・児童・生徒数	38
11 観光	
11-1 観光客数	39
12 財政	
12-1 会計別歳入・歳出決算額	40
12-2 一般会計歳入決算額(科目別)	41
12-3 一般会計歳出決算額(目的別・性質別)	42

I 開成町について

1 位置と地勢

開成町は、神奈川県西部の足柄上地区中央部に位置し、東京から70km圏内、横浜からも50kmの距離にあり、町域は東西1.7km、南北3.8km、総面積は6.55km²と県内で一番面積が小さな町です。

また、本町の東には酒匂川が流れ、西には箱根外輪山、南には相模湾、北には丹沢山塊を望むなど、自然に恵まれたなだらかな平坦地です。



2 沿革

天正18年(西暦1590年)の豊臣秀吉による小田原攻めに対し北条氏が降伏して、大久保忠世が小田原城主になると、開成町の旧村々は小田原城城付村となりました。その後、明治4年7月の廃藩置県により小田原県、同年11月には足柄県となり、明治9年4月に神奈川県になりました。

明治22年4月の町村制施行により岡野村、金井島村、延沢村、円通寺村、中之名村、宮台村、牛島村の7村が合併して酒田村が誕生しました。そして、昭和30年2月1日には、小田原藩当時から行政区域の変更もなく存続していた吉田島村と酒田村が合併して開成町が誕生しました。

3 町名の由来

明治初期から両村組合立て開設した開成小学校からとったもので、もともとは「学問、知識を開発し、世のため成すべき務めを成さしめる」という中国の言葉(開物成務)が語源です。

4 開成町民憲章

わたくしたちは、酒匂川の清流と緑と太陽に恵まれた開成町の豊かな自然を誇りとし、「開物成務」をめざした住みよいまちづくりに願いをこめて、ここに町民憲章を定めます。

- ◎ 自然とすまいの調和を大切にし、魅力あるまちをつくります。
- ◎ 恵まれた環境を守り、うるおいのあるまちをつくります。
- ◎ 教養を深めスポーツを愛し、文化の高いまちをつくります。
- ◎ ゆずりあう心で、ふれあいの輪が広がるまちをつくります。
- ◎ 健康をよろこび勤労を尊び、いきいきとしたまちをつくります。

5 町章・町の木・町の花



町章

昭和31年2月1日制定



町の木「しいがし」

昭和48年7月19日制定



町の花「あじさい」

昭和52年6月6日制定

6 開成町のあゆみ

年	出来事
昭和 30 年 (1955 年)	酒田村と吉田島村が合併して開成町が誕生
昭和 39 年 (1964 年)	足柄上衛生組合設立 広報かいせい第 1 号発行
昭和 40 年 (1965 年)	町内全域を都市計画区域に決定
昭和 43 年 (1968 年)	し尿処理業務開始(足柄上衛生組合) 上地区簡易水道給水開始
昭和 44 年 (1969 年)	下地区簡易水道給水開始
昭和 45 年 (1970 年)	開成幼稚園開設 開成町民センター(旧役場庁舎)竣工 新十文字橋開通
昭和 46 年 (1971 年)	足柄上消防組合発足
昭和 47 年 (1972 年)	北部地域を開成農業振興地域に指定
昭和 48 年 (1973 年)	開成小学校校舎竣工
昭和 50 年 (1975 年)	人口 1 万人到達
昭和 53 年 (1978 年)	かいせい音頭制定 農村基盤総合整備事業開始 文命中学校校舎竣工
昭和 54 年 (1979 年)	駅周辺地区の市街化区域拡大の計画決定 都市計画道路大井開成関本線の部分開通
昭和 57 年 (1982 年)	下水道事業開始 延沢西河原地区土地区画整理事業が完了 開成駅周辺地区土地区画整理事業施行に関する条例の施行
昭和 58 年 (1983 年)	水道第一期拡張事業開始 上島・金井島地区ほ場整備完了
昭和 59 年 (1984 年)	あじさい農道にあじさいを植栽
昭和 60 年 (1985 年)	開成駅が小田急線 68 番目の駅として開業 武永田水辺公園完成
昭和 61 年 (1986 年)	開成町民センター、保健センター竣工
昭和 63 年 (1988 年)	足柄大橋開通 自治会制度発足 第 1 回あじさい祭り開催 第 1 回開成秋まつり(阿波おどり)開催
平成元年 (1989 年)	公共下水道供用開始
平成2年 (1990 年)	町民憲章制定 町の木・花のデザイン、町のロゴマーク制定
平成3年 (1991 年)	足柄西部清掃組合設立
平成6年 (1994 年)	福祉会館竣工 開成水辺スポーツ公園利用開始 第 1 回町パークゴルフ大会開催
平成7年 (1995 年)	ごみ焼却施設「足柄西部環境センター」完成

年	出来事
平成9年 (1997 年)	開成駅周辺地区土地区画整理事業が完了
平成 11 年 (1999 年)	自転車利用環境整備モデル都市に選定
平成 12 年 (2000 年)	足柄上消防組合と南足柄市消防を統合し 足柄消防組合が発足 町環境基本条例施行 グリーンリサイクルセンター完成
平成 13 年 (2001 年)	「瀬戸屋敷」の母屋と土蔵を町重要文化財 1 号に指定 第 1 回スポ・レクフェスティバル開催
平成 14 年 (2002 年)	県道山北開成小田原線が開通
平成 15 年 (2003 年)	開成駅に箱根登山バス(株)、富士急湘南バス (株)が乗り入れ開始
平成 17 年 (2005 年)	人口 1 万 5 千人到達 あしがり郷瀬戸屋敷開園
平成 19 年 (2007 年)	台風 9 号により十文字橋落橋 南部地区の市街化区域編入
平成 20 年 (2008 年)	あじさいのまち開成自治基本条例施行
平成 21 年 (2009 年)	第 1 回風鈴まつり開催 開成町きれいなまちをつくる条例施行
平成 22 年 (2010 年)	開成南小学校開校 台風 9 号により開成水辺スポーツ公園冠水
平成 25 年 (2013 年)	消防事務を小田原市に委託
平成 26 年 (2014 年)	足柄紫水大橋開通 都市計画道路山北開成小田原線暫定開通
平成 27 年 (2015 年)	あじさい公園発電所竣工 町内巡回バス施行運行開始 「開成みなみ」町びらき
平成 28 年 (2016 年)	開成町駅前子育て支援センター開所 開成町駅前窓口コーナー開設
平成 29 年 (2017 年)	あしがり郷瀬戸屋敷に指定管理者制度を導入 町内巡回バス本格運行開始
平成 30 年 (2018 年)	3 歳児教育の開始
平成 31 年 (2019 年)	小田急線開成駅急行停車
令和元年 (2019 年)	あしがり郷瀬戸屋敷に「案内・食品加工・販売」を行う交流拠点施設を整備
令和2年 (2020 年)	開成町役場新庁舎竣工
令和4年 (2022 年)	開成南小学校区学童保育所開所
令和5年 (2023 年)	開成小学校開校 150 周年記念式典

6 開成町のあゆみ(続き)

<進出企業・工場(主なもの)>

年	進出企業・工場
昭和 31 年 (1956 年)	足柄光学(株)
昭和 37 年 (1962 年)	開成工業(株) 日本防蝕(株) 日本建材工業(株)
昭和 38 年 (1963 年)	株明治ゴム製造所(現株明治ゴム化成)神奈川工場 山陽スコット(株)(現日本製紙クレシア(株))開成工場・開成通産(株)
昭和 39 年 (1964 年)	エースカバン(株)(現エース物流サービス(株)小田原第一・第二センター)
昭和 41 年 (1966 年)	玉川ダイカスト工業(株)(現株タマダイ)
昭和 44 年 (1969 年)	南開工業(株)
昭和 45 年 (1970 年)	富士ゼロックス(株)竹松事業所(現富士フィルムビジネスソリューション(株)竹松事業所) トルク工業(株)開成工場
昭和 49 年 (1974 年)	株井上精工
昭和 54 年 (1979 年)	株小田原エンジニアリング
昭和 56 年 (1981 年)	富士写真フィルム(株)宮台開発センター
平成6年 (1998 年)	パナック工業(株)開成工場
平成 16 年 (2004 年)	株メイジフローシステム
平成 18 年 (2006 年)	富士フィルム(株)先進研究所
平成 29 年 (2017 年)	株柴橋商会 西湘工場
令和4年 (2022 年)	株KOWAKE 開成工場
令和6年 (2024 年)	小田原紙器工業(株)

7 歴代町長

氏名	在任期間
瀬戸 格	昭和 30 年(1955 年)2月 20 日～ 昭和 34 年(1959 年)2月 19 日
辻村 君造	昭和 34 年(1959 年)2月 20 日～ 昭和 38 年(1963 年)2月 19 日
露木 甚造	昭和 38 年(1963 年)2月 20 日～ 昭和 58 年(1983 年)2月 19 日
井上 伝蔵	昭和 58 年(1983 年)2月 20 日～ 昭和 62 年(1987 年)2月 19 日
山神 輝	昭和 62 年(1987 年)2月 20 日～ 平成 2 年(1990 年)1月 9 日
山本 久雄	平成 2 年(1990 年)2月 25 日～ 平成 10 年(1998 年)2月 24 日
露木 順一	平成 10 年(1998 年)2月 25 日～ 平成 23 年(2011 年)3月 24 日
府川 裕一	平成 23 年(2011 年)4月 24 日～ 令和 5 年(2023 年)4月 25 日
山神 裕	令和 5 年(2023 年)4月 26 日～

II 人口

1 人口・世帯数の推移

開成町が誕生した昭和 30 年の国勢調査では、人口 4,633 人、世帯数 801 世帯の農村地帯でしたが、温暖な気候と交通網の発達により、近年は住宅地として、また農・商・工の調和のある都市として発展しており、令和2年国勢調査では、人口 18,329 人、世帯数 6,936 世帯となっています。

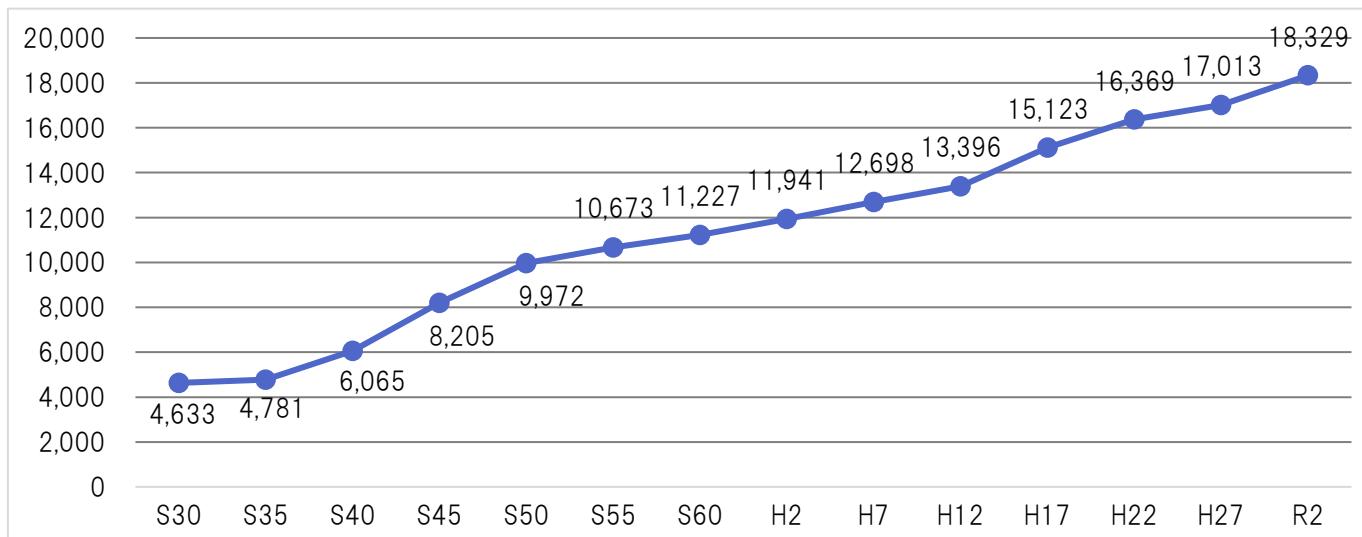
《国勢調査》

	人口	世帯数
昭和30年	4,633人	801世帯
昭和40年	6,065人	1,286世帯
昭和50年	9,972人	2,492世帯
昭和60年	11,227人	3,014世帯
平成 2年	11,941人	3,355世帯
平成 7年	12,698人	3,827世帯
平成12年	13,396人	4,208世帯
平成17年	15,123人	5,035世帯
平成22年	16,369人	5,749世帯
平成27年	17,013人	6,169世帯
令和 2年	18,329人	6,936世帯

2 人口増加率

平成 27 年国勢調査から令和2年国勢調査までの5年間の人口増加率は 7.7%で、県内市町村の中では最も高い人口増加率となっています。

また、平成 17 年国勢調査から4回連続で、人口増加率が県内市町村で1位となっています。



3 年齢3区分別人口割合

令和2年国勢調査では、総人口に占める 0 歳から 14 歳までの人口(年少人口)の割合は、14.8% で、県内市町村の中で1位となっています。

年少人口は、前回調査から 114 人増加(0.5 ポイント低下)し、神奈川県内の市町村の中では子どもが多い町です。

65 歳以上の人口は、前回調査から 509 人増加し、4,768 人となりました。

町の総人口に占める 65 歳以上の割合は前回調査から 1.0 ポイント上昇し 26.1%となり、約 4 人に 1 人が 65 歳以上となっています。

《年齢3区分別人口》

	平成27年	令和2年
年少人口 (0歳～14歳)	2,595人 (15.3%)	2,709人 (14.8%)
生産年齢人口 (15～64歳)	10,125人 (59.6%)	10,804人 (59.1%)
老年人口 (65歳以上)	4,259人 (25.1%)	4,768人 (26.1%)

III 土地利用

1 計画的な土地利用

限られた土地を有効に活用し、良好な生活環境を構築するため、町域を北部地域・中部地域・南部地域の3つに区分し、計画的な土地利用を進めています。

《北部地域》

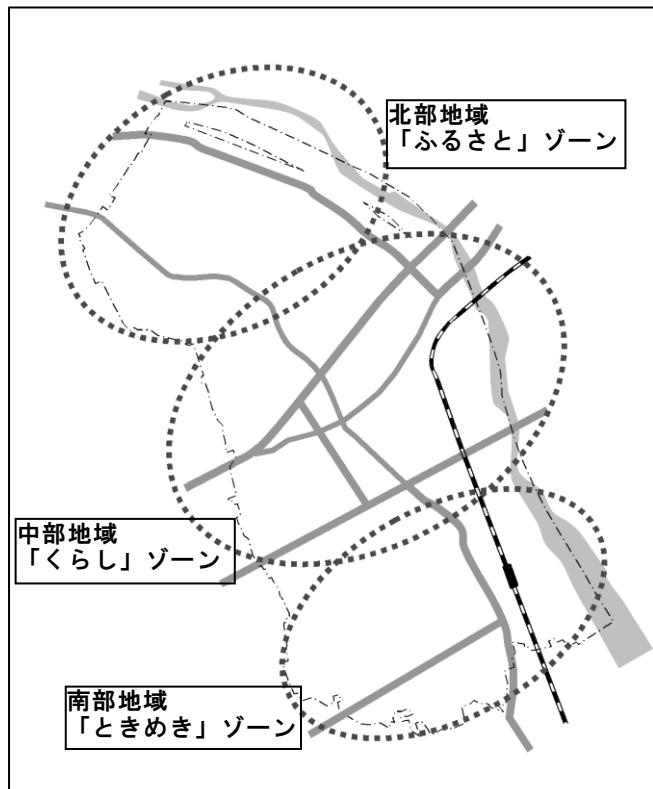
全域が市街化調整区域であり、そのほぼ全域が農業振興地域に指定されており、優良農地の保全に努めるとともに、都市近郊農業地帯として土地利用を進めています。

《中部地域》

ほぼ全域が市街化区域であり、住宅地を中心に、商業施設、工業施設、公共施設などが集まり、生活圏における多面的な役割を担っています。

《南部地域》

小田急線開成駅を中心とした広域交流拠点として新市街地の形成を進めています。



2 宅地の増加

開成町は、都市化が進み、農地が減少し、宅地が増加しています。

現在では、町の面積の約3分の1が宅地となっています。

3 市街化区域・市街化調整区域

町域の中央部と南部の一部に市街化区域が指定され、都市計画道路関本開成大井線沿道と開成駅周辺に商業系用途地域が位置付けられています。

北部の市街化調整区域は、農業振興地域の農用地としてされ、良好な農地が保全されています。

《用途地域別面積》

	面積(ha)	市街化区域内での割合	町全体での割合
市街化区域	284	100.0	43.4
第一種低層住居専用地域	20	7.1	3.1
第二種低層住居専用地域	35	12.4	5.3
第一種中高層住居専用地域	39	13.8	6.0
第一種住居地域	128	45.2	19.5
近隣商業地域	15	5.3	2.3
商業地域	3.4	1.2	0.5
準工業地域	9	3.2	1.4
工業地域	19	6.7	2.9
工業専用地域	15	5.3	2.3
市街化調整区域	371	—	56.6
総面積	655	—	100.0

《土地区画整理事業》

地区名	施工年度	施工面積
開成駅周辺地区	S57～H8	26.46ha
開成駅屋敷下南地区	H6～H13	2.69ha
開成駅屋敷下地区	S60	3.26ha
開成駅道通河原地区	H3～H4	0.91ha
開成駅東口D地区	H10～H12	3.96ha
延沢西河原地区	S55～S57	3.82ha
松ノ木河原地区	H14～H18	5.73ha
南部地区	H19～H27	26.7ha

IV 産業・観光

1 産業

令和3年経済センサス-活動調査では、開成町の民間事業所数は639で、そのうち86.9%を第三次産業が占めています。

製造業では、工業用ゴム、家庭用紙、ダイカスト製品等の工場が町内に立地しています。

民間研究機関が立地している影響から、「学術研究、専門・技術サービス業」の従事者割合が16.8%と高いほか、「医療、福祉」従事者も増加しています。

	事業所数	従業者数
第一次産業	4	49
A 農業、林業	4	49
B 漁業	0	0
第二次産業	80	1,238
C 鉱業、採石業、砂利採取業	0	0
D 建設業	52	248
E 製造業	33	1,020
第三次産業	555	5,463
F 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0
G 情報通信業	4	139
H 運輸業、郵便業	11	225
I 卸売業、小売業	124	1,173
J 金融業、保険業	7	62
K 不動産業、物品貯蔵業	134	226
L 学術研究、専門・技術サービス業	22	1,225
M 宿泊業、飲食サービス業	63	516
N 生活関連サービス業、娯楽業	60	255
O 教育、学習支援業	29	136
P 医療、福祉	77	1,132
Q 複合サービス業	3	20
R サービス業(他に分類されないもの)	27	461
S 公務(本調査では調査対象外)	-	-

2 農業

2020年農林業センサスでは、開成町の総農家数243戸のうち、販売農家が120戸、自給的農家が123戸となっています。稲作が中心で、いも類や野菜等も作られています。

3 観光

●施設

《あしがり郷瀬戸屋敷》

この地域の名主を代々務めてきた瀬戸家の屋敷。約1,800坪の屋敷内には茅葺の大きな主屋、土蔵などがあり、ひなまつり、端午の節句、七夕など伝統的な年中行事を再現しています。

《開成水辺スポーツ公園》

酒匂川のほとりにある総合スポーツ公園。関東で最初のコースが設けられたパークゴルフ場をはじめ、サッカー、野球、ソフトボールなど多目的に利用でき、季節ごとの美しい草花も楽しめます。

●イベント

《開成町 瀬戸屋敷ひなまつり(3月)》

築300年の古民家「瀬戸屋敷」で行われるひなまつりは、江戸時代の風情がいっぱいです。地元の蔵から発見された300年前の「享保雛」や瀬戸屋敷収蔵のひな人形の数々、婦人会手づくりの「つるし雛」7,000個以上を展示しています。

《開成町 あじさいまつり(6月)》

東京ドーム約3.6個分の広大な水田地帯の中に、あじさいが5,000株。田植えをしたばかりの緑に染まった田んぼと、虹色に咲き誇るあじさいを見ながら、ゆっくりと散策することができます。

《開成町 納涼まつり(8月)》

夏の終わりをしめくくる納涼まつりでは、風が吹き抜ける気持ちのいい川辺で、食べたり飲んだり、音楽を聴いたり、芝生に寝ころんだり。フィナーレはほぼ真上に打ちあがる迫力の花火です。

《開成町 阿波おどり(9月)》

自治会や事業所ごとの町内連をはじめ、町外連も参加し、約800人の踊り手が役場周辺の道路を練り歩きます。東日本でいちばん小さな町が一年でいちばん熱くなる夜です。

V 組織

開成町行政機構図(令和7年4月1日現在)

